

(茨城県大子町)の課題

別紙2

(地方公共団体名)の
概要・特徴等

県の最北西部にあり、北は福島県、西は栃木県に接する県際地域に位置し、南北約28km、東西約19km、総面積325.76kmで、県土の約20分の1を占めています。町の約80%は八溝山系と阿武隈山系からなる山岳地で、これらの山あいから数多くの中小河川が流れ出し、町の中央部を縦断する久慈川に注いでいます。
【総人口】16,412人【世帯数】7,295世帯(令和2年9月1日現在)。※65歳以上45.2%。

解決したい地域課題

課題分野:①防災、②福祉・健康、
令和元年東日本台風では、大子町役場では、地階・第一分室1階・第二分室、公用車21台が浸水した。建物(住家)の被害状況は全壊・大規模半壊・半壊・一部損壊588棟他、公共施設、田、畑及び山林に土砂崩れ、土砂流入、浸水被害を被った。
今後も常態化するといわれる極端気象による自然災害に対して、限られた職員では公助のみで対応するのは困難であるし、高齢化45.2%という現状を鑑みた仕組み作りも必要である。そこで、IoT、AI、5G等の情報通信技術(ICT)やデータを利活用する各種ソリューションを民間企業等からの提案を受け、協創を通じたレジリエントなスマート大子町創りを目指したい。
当町におけるさまざまな問題の原因を考慮すると、具体的に以下のような課題解決に対する提案を期待する。

- ①新たに組織した自主防災会と円滑に連携するためのICT活用
- ②高齢者への防災情報提供や避難支援でICTリテラシの制約を解消するサービス
- ③災害時に効率的かつ確実な高齢者避難支援ができる仕組み
 - ※③は平時から高齢者福祉事業(健康状態の把握、高齢者の要援護情報の拡充、避難所が分からない方への平常時のサポート)と連携した取組となることを期待
- ④避難状況をリアルタイムに把握できる仕組み
- ⑤国が管理する一級河川以外の中小河川についても、河川水位や浸水状況をリアルタイムに把握したり、上流域(福島県)の気象情報を活用した水位予測の仕組み

ソリューション提案に 対するアピールポイント

大子町総合計画の実践にあたっては、役場内の各課等の一体的な取り組みや、町民、民間団体や大学等との協働による推進が必要であり、これらの組織による施策の推進、進行管理、効果検証等を行っていきます。従って、総務課が中心となり、関連課や町内の各種ステークホルダーとの体制作りがスムーズに行えます。

本町は人口が少ないので、実証等を行う際には実施がし易いです。行政組織もコンパクトですので、官民等との協議に際しての調整も迅速に対応できます。また、本町は神奈川県と「エイジフレンドリーシティ」として連携していますので、雁行型での実証・実装等にも向いています。